

美しいクラスのハーモニーが心を育てる
～合唱コンクール&エピソード～

倉敷市立西中学校長 松本一郎

11月16日(月)は、合唱コンクールでした。そのクラスは、「エール」という曲を歌いました。当日の講評では、クラスごとにコメントしました。○組には、「人を勇気づけ、励まし、応援する気持ちが込められた合唱でした。ここで聞いている3年生全員と先生方へのエールをありがとうございました。天にも届くような美しさの女声パートと、スクラムを組んだようながっしりとした男声パートが、○組のクラスのハーモニーを成功させてくれました。」と話しました。

3年生は、どのクラスの合唱もすばらしく、甲乙は付け難い好演奏の連続でした。修学旅行をはじめ多くの学校行事が中止となり、体育会とともに、この合唱コンクールにかけた生徒たちの期待は、並々ならぬものがあると、練習の様子から感じていました。

合唱コンクールが終わって、一人ひとりが感想を書きましたが、生活ノートに書いている感想をコピーして、ある担任の先生が持ってきてくれました。「合唱コンクールするとき、一番すごいなと思った『人』は、校長先生。あの短時間に、よく全クラスの歌の感想が書けたなと驚いた(しかも感想のレベル高い)」私は、このうれしいコメントに、GBチケットを贈りました。それだけではありません。担任の先生のコメントが心にしみます。「そういう見方ができるあなたもすごいよ。☆彡 各クラスのがんばりが、正直な思いとして校長先生の心から出たと思います。」ありがとうございます。

後日、12月4日(金)の4時間目は、○組の音楽の時間でした。授業を参観したあと、音楽担当の先生が、話してくれました。

「実は、この○組は、合唱の練習がうまくいっていなかったんです。どちらかというと、大人しい生徒が多く、なかなかハーモニーがうまく取れませんでした。そんな中で、私も、ついつい生徒に対して厳しいことを言っていたのかもしれませんが、ますます、悪循環になっているなどは感じていました。合唱コンクールも迫ってきた11月12日(木)に、たまたま、校長先生が音楽室に来てくれたので、クラス合唱を聞いてもらったことがありましたよね。それが、○組だったのです。あのとき、校長先生が○組の生徒に対して、ものすごくほめてくれましたよね。あれからです。○組の合唱が、どんどん歌う度に伸びていくのがわかりました。本番では、入賞はしませんでした。ほかのクラスに肩を並べる○組らしい合唱ができたと思います。あのクラス合唱がどんどん良くなっていく様子を見てみると、本当に、ほめることの大切さを実感しました。」

私としては、想像もしてなかったドラマがあったんだなあと、とてもうれしくなりました。私のほめ言葉が、生徒に勇気を与えていました。うれしいことは、いろいろあると思いますが、自分の信念のようなものを認めてもらえたうれしさは、また、格別です。教職員みんなが、生徒の心にしみ込むほめ言葉を磨き、それで生徒を励まし勇気づけ続ける日が、西中に来る日は近いと思っています。